



授業紹介 臨床栄養学実習

臨床栄養学実習では、各学生が入院食による一般食を基本に、病態に合わせた食事いわゆる治療食の献立を考え、それを実際に作ります。また、嚥下咀嚼困難の疑似体験を行なった上で、それ専用の食事を実習では調理します。

その他、調理以外の実習を下記に紹介します。



過剰な活性酸素の産生は細胞への傷害(酸化ストレス)に影響を及ぼします。実習では体内および飲料水の酸化還元電位値を測定して、適切な酸化還元バランスを保つための生活様式や食生活の理解を深めていきます。

酸化ストレスと疾病との関わり

体動できない患者を想定して、身体計測を学習します。体位変換は介護福祉系の教員から指導を受けています。身体計測の結果は、食生活や生活状況を被計測者から問診して、栄養評価を行います。管理栄養士を見据えての実習です。



身体計測と栄養アセスメント

写真の様子は、リモートによる栄養相談の疑似体験です。栄養カウンセリングの技法を学習する前後に栄養相談を行ないました。栄養相談の難しさが体験できる学習です。



栄養相談のロールプレイング